

第37回 役員会 議事要録

日 時：平成24年10月30日(金)13:00～14:00

場 所：北方キャンパス本館 E-703 会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、利島理事、志賀理事、岡本理事、梶原理事、井村理事、中野(利)監事、木原副学長

- 配付資料
- 1 ベトナム科学アカデミー環境技術研究所と北九州市立大学環境技術研究所との学術交流協定締結について
 - 2 教職課程における全学的な組織の設置について
 - 3 グローバル人材育成推進事業委員会の設置について
 - 4 平成24年度卒業予定者の就職内定状況について
 - 5 外部受託研究契約の解除について
 - 6 モノレール車両のラッピングについて
 - 7 現行の教員評価について

報告1 ベトナム科学アカデミー環境技術研究所と北九州市立大学環境技術研究所との学術交流協定締結について

配布資料1のとおり、ベトナム科学アカデミー環境技術研究所と北九州市立大学環境技術研究所との学術交流協定締結について報告があった。

質疑応答：なし

報告2 教職課程における全学的な組織の設置について

配付資料2のとおり、教職課程における全学的な組織の設置について報告があった。

- 文部科学省はどういう経緯で組織を作れ、という指導を始めたのか。
- 小中高を含めた教員の質の向上と専門大学院の教育体制を見直さない、という非常に強い要請があった。
- 学士課程の方はほとんど変わらないのか。
- そうです。
- 教職を志す学生が本学は少ないのか。
- 毎年約100人前後が免許を取得している。
- 実際に職に就けるのは数人で、大変厳しい状況である。
- 内訳としては、英語の教員が多い。
- 運営委員会は定期的に関くのか。
- 重要な議題があった時に、必要に応じて開く。

報告3 グローバル人材育成推進事業委員会の設置について

配付資料3のとおり、グローバル人材育成推進事業委員会の設置について報告があった。

- 平成24年度海外経験者125名というのは、どういうカウントの仕方なのか。
- 夏休みのみの短期留学ではなく、半年以上海外に留学する学生数をあげている。毎年ほぼ同数であり、累積数ではない。全国の公立大学の中では2位の多さである。
- 資格のような、対外的に認められるようなものはあるのか。目標がないと、モチベーションが上がらないのではないか。
- 単位交換の制度はある。
- 表彰等はどうか。
- 今後整備していきたい。

報告4 平成24年度卒業予定者の就職内定状況について

配付資料4のとおり、平成24年度卒業予定者の就職内定状況について報告があった。

質疑応答：なし

報告5 外部受託研究契約の解除について

配付資料5のとおり、外部受託研究契約の解除について報告があった。

- 今後はこのようなことがないように検討いただきたい。

報告6 モノレール車両のラッピングについて

配付資料6のとおり、モノレール車両のラッピングについて報告があった。

質疑応答：なし

報告7 現行の教員評価について

配付資料7のとおり、現行の教員評価について報告があった。

- 学部・学科長が2年経つと任期が終わり、評価される側に戻ってしまう。それは問題点なので、もっと公正な評価ができるようにしなければならない。
- 地域貢献や学外での活動など、見えづらい部分があり、評価が難しい。どこの大学でも難しい部分になっている。
- プラスの評価をされると、組織が大きく変わる。それができないか、常々考えている。
- 評価の目的をどこに置くか、頑張っている人のモチベーションとなる意味を持たせるのか。どこに目的を置くのか、議論する必要がある。